

関西国際大学 大学院案内

Graduate School of
Kansai University of International Studies

2026

人間行動学研究科

人間行動学専攻

- ・臨床心理学コース
【（公財）日本臨床心理士資格認定協会第1種指定】
【公認心理師資格対応】

臨床教育学専攻

- ・特別支援教育コース
【特別支援教育士資格取得ポイント振替え対応】
- ・幼児教育マネジメントコース
- ・日本語・日本文化コース

さらなる高みを目指す

人生100年時代における 専門職業人育成の拠点をめざして

学長 濱名 篤



“人生100年時代”といわれる時代を迎え、リンダ・グラットン氏たちは“LIFE SHIFT”という表現で、人生のステージ設定が、教育－仕事－引退という直線的で典型的な3ステージの時代ではなくなっていることを指摘しています。Explorer（知識の再取得、自分の人生を考える）－Independent Producer（フリーランスなど組織に雇われず独立して生産的な活動に従事する）－Portfolio Stage（異なる活動を同時並行的に行う。例：週3日仕事、週1日NPO活動、週1日ボランティア活動）という3つのステージを、人によっては行きつ戻りつしていくという多様で流動的な人生設計になってきているということでしょう。

本学の大学院は、専門職業人のExplorerのための学びの場です。専門職業人を目ざしている若者だけでなく、専門的職業に従事している、あるいは従事していた人たちにとって実際の職業現場においての課題発見と解決につながる大学院レベルの教育・研究内容を提供しようとしています。

さらに多様な背景の方々が学びやすいように、大部分の科目については遠隔授業でも受講可能になり、論文指導は主たるキャンパスで指導教員と密接な個人指導で行う体制を整え、仕事の関係で通学が難しい方は遠隔方式による双方向型授業で受講していただくことを可能にしました。全国どこからでも学ぶことができ、在籍年数の上限を緩和して、仕事や生活の状況にあった学びの選択ができるようになりました。

また、臨床教育学専攻は、厚生労働省の教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の指定を受けた対象講座となり、費用面でも学びやすくなっています。

大学院での専門性が高く役に立つ学びと研究がより身近になる、人生100年時代の新たな学びを始められることを歓迎します。

一緒に自分の特性・専門性を 活かして社会に貢献しませんか

研究科長 山本 真由美



関西国際大学大学院人間行動学研究科に関心を持っていただきありがとうございます。

本研究科には臨床教育学専攻と人間行動学専攻の2つの専攻があります。臨床教育学専攻には2026年開設予定の日本語・日本文化コースを含め、3つのコースがあります。人間行動学専攻には、公認心理師と臨床心理士の受験資格と獲得できる臨床心理学コースがあります。

今、世界ではいろいろな国で争いや地震、火災などの自然災害などが起きており、PTSDという状態の人が増えています。自殺（自殺）、いじめ、ひきこもり、不登校、子どもや高齢者への虐待、発達障害など様々な問題もあります。このような現代社会で、あなたは、自分に何ができるのか、どう生きれば良いのかなど考えることもあるでしょう。本大学院への進学がご自分の使命（ミッション）は何かを考える機会になることを期待します。

大学院で何をどのように学びたいのかということをあなたが自律的に考えて行くことが必要です。大学院では、知識・技術の修得も大切ですが、さまざまな経験を通した人との繋がりも大切です。

自分の特性・専門性を活かし、あなた自身と他者を支える知識や技術、さまざまな繋がりに関西国際大学大学院人間行動学研究科で一緒に身につけませんか。

大学院で学びを深めたい社会人の皆様へ



我が国の社会が大きく変化しているいま、様々な社会的課題の解決に向けて、社会人として活躍されている方々の生涯学習の必要性がますます高まっています。大学院人間行動学研究科では、このような社会的要請に応えるために、社会人の方々が学びやすい大学院を目指して、様々な受け入れ制度と教育プログラムを用意しています。

1. 社会人向けのカリキュラムと教育

臨床教育学専攻では、教育・保育の現場で活躍する社会人のために、修士論文に代るものとして、支援事例の研究や職場での支援体制づくりの研究を行う「実践課題研究」の科目を用意しています。修士論文か実践課題研究かの選択は、大学院入学後に指導教員と相談して決定します。

2. 社会人向けの入試制度

- (1) 短期大学、高等専門学校、専修学校の卒業生など4年制大学を卒業していない方であっても、個別の入学資格審査に合格することで、大学院を受験することが可能です。
- (2) 臨床教育学専攻では、外国語試験に代えて小論文試験を課す、社会人向けの入試を行っています。

3. 夜間授業・オンライン授業（臨床教育学専攻のみ）

臨床教育学専攻では、社会人の学びやすさを考慮して、授業は交通の便の良い尼崎キャンパスで**夜間（18：30以降の時間帯）**に行っています。また、一部の科目を除きオンラインで受講できますので、職業を続けながら大学院の授業を受講することが可能です。

4. 社会人のための学費補助制度（教育訓練給付制度）について（臨床教育学専攻のみ）

臨床教育学専攻は、厚生労働大臣より、教育訓練給付制度の専門実践教育訓練として指定を受けています。公務員以外の社会人の方が、一定の条件を満たせば、入学金および授業料の最大70%の給付が受けられます。

※「一定期間以上雇用保険に加入している（していた）」「大学院を2年間で修了する」「本学が定める受講認定基準を半年ごとに満たす」等、一定の要件を満たしていることが支給の条件となります。詳しくは本学教務課までお問合せください。

5. 長期履修制度（臨床教育学専攻のみ）

通常2年間の修士の教育課程を、最長3年に亘って履修する制度です。履修の年限は、個人の事情に合わせて自由に選択することができます。長期履修を選択した場合の授業料は単位あたりとなり、在学期間が長くても2年間で学ぶ方と学費は同額です。

6. 大学院接続プログラム

臨床教育学専攻では、「気軽に学びを始めて、修士の資格取得へ」のポリシーのもと、様々な「大学院接続プログラム」を用意しています。

(1) 大学院履修証明プログラム

大学院入学以前に大学院の授業を受講して単位を取得できる制度です。大学院に入学した際には、取得した単位が最大15単位まで大学院の授業単位として認定されます。

(2) その他のプログラム

この他にも、本学が開設する幼稚園教諭一種免許状認定講習や夜間講座からも、大学院での学習を体験することができます。

入学者の受入れに関する方針（アドミSSION・ポリシー）



人間行動学専攻

人間行動学専攻では、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）並びに教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる能力と意欲を備えた人を求めます。

- 1 心理学または社会学の基礎的知識を有している。
- 2 人間行動に関する諸課題についてテーマを設け、研究計画を立てることができる。
- 3 心理学または社会学分野の基礎的英語能力を有している。
- 4 人間に関する問題を論理的に表現する能力を有している。
- 5 人間と関わる専門職業人を目指していく意欲を持っている。



臨床教育学専攻

臨床教育学専攻では、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）並びに教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる能力と意欲を備えた人を求めます。

- 1 教育学または日本語学・日本語教育学に関する基礎的知識を有している。
- 2 教育現場等の諸課題についてテーマを設け、研究計画を立てることができる。
- 3 教育学または日本語学・日本語教育学についての情報を入手、共有するための英語能力を有している。
- 4 教育現場等の問題を論理的に表現する能力を有している。
- 5 教育の現場等で活用できる専門的知識と実践力を修得しようとする意欲を持っている。

人間行動学専攻

人間行動学専攻の特色

■臨床心理学コース

修了時に公認心理師、臨床心理士の両方の受験資格を取得できます。

本コースでは「臨床心理面接特論」「臨床心理査定演習」「投影法特論」といった演習科目で理論を学びます。また、「臨床心理基礎実習」「臨床心理実習」での学内・学外での実習により実践的な学びを行います。これらの理論と実践の往還的な学びが徹底的に行われるトレーニング体制が整っています。さらにスポーツ選手（アスリート）へのカウンセリング、メンタルトレーニングができる心理職、司法・犯罪の分野で活躍できる心理職の養成にも注力しています。



充実した実習・演習 学んだ知識を実践力に変える活きた実習体験

臨床心理学コース

修了後、心理臨床の実践の場で専門的知識と技能を発揮し、クライアントに十分に寄与できる高い専門性が身につくよう、心理臨床に関する理論と専門的スキルを往還的に学んでいきます。

1年次には、心理面接や心理検査などに関する知識や技法について学び、心理臨床の基礎的な力を身につけます。また、ロールプレイによる初回面接実習、陪席実習を通して、実践的な力をつけるトレーニングを行います。その後、本研究科附属の心理臨床センターで、実際のケースを担当する実習を行います。実習として担当するケースは、成人の心理面接、子どものプレイセラピー、親面接（親子並行面接）など様々です。実習で担当したケースについては、臨床心理士・公認心理師資格を持つ教員全員、大学院生全員による学内のカンファレンスで検討していきます。また、スーパーバイザーによる個別指導も受けます。このようなしっかりとした指導とサポートのもとで、専門職としての基本的な技能の研鑽を積んでいきます。

2年次には、学外の施設での実習も行います。実習先は、教育、福祉、医療の3領域の専門機関で、それぞれの実習を行います。教育領域では、スクールカウンセラー実習や教育支援センターなどでの不登校支援を経験します。福祉領域では、「兵庫県立神出学園（公立フ

リースクール）」「兵庫県立清水が丘学園（児童心理治療施設）」などが、また医療領域では、「精療クリニック小林」「小林メンタルクリニック」などの精神科クリニックや、「清水小児科」が実習先になっています。

また、2年次には、修士論文の作成も本格化します。大学の講義や実習体験、学内・外での実習を通して発見した問題・課題について研究を行い、心理臨床、自身の実践の問題を整理し、次へのステップとします。

このように実践と理論学習・研究活動のスパイラルによって、人のこころに真摯に向き合える対人援助の真の専門職へと成長をしていく学びを2年を通じて行っています。

これらの教育を支えるのは、現在もスクールカウンセラーとして教育分野で心理臨床を実践している教員、司法・犯罪分野で、犯罪者や非行少年の更生のための心理的支援を実践している教員、アスリートのメンタル面のサポートや身体を介した心理療法としてスポーツの活用について研究している臨床スポーツ心理学が専門の教員、子どもの発達を専門にしている教員、医療分野を専門としている教員など、多様な分野と領域を臨床・研究のフィールドにしている教員です。また、ロールシャッハや、バウムテストをはじめとする描画法を研究テーマとしている教員が、それらの指導を行っています。

取得可能な資格

■臨床心理士資格認定試験受験資格

臨床心理学コースは（公財）日本臨床心理士資格認定協会から、第1種大学院の指定を受けており、このコースの修了生は、修了直後から、臨床心理士資格試験を受けることができます。

■公認心理師試験受験資格

臨床心理学コースは、国家資格である「公認心理師」養成カリキュラムに対応しています。大学の心理系の学部在学中に「公認心理師」養成のために必要な科目を修めて卒業後※、本学の臨床心理学コースで、指定された科目をすべて修めることにより、公認心理師国家試験の受験資格を得ることができます。

※法施行（2017年9月15日）時点で、心理系の学部・学科に在籍している、もしくは卒業している方は、大学での履修科目が資格条件を満たしている方が、対象となります。

■専門社会調査士資格

専門社会調査士資格とは、より高度な社会調査の専門知識と技能を修得した専門的職業人であることを社会に広く示す、大学院修士課程修了レベルの資格です。

これまでの修士論文題目（一例）

- ・バウムテストにおけるCastillaのサインと状態不安と特性不安の関連について
- ・イップス経験を有する大学生テニス競技者の内的体験過程に関する研究
- ・ロールシャッハ反応からみた大学テニス競技者のあがりに関する研究
- ・セクシャル・マイノリティの親子関係の体験－カミングアウト前後の親と子どもの心理的変容過程－
- ・中学生の自尊感情とSNS上での印象形成との関連
- ・非行少年に対する高校生の社会的距離の構造
- ・友人のソーシャルサポートが認知的評価を介して大学生のレジリエンスに及ぼす影響
- ・大学生における心理社会的発達課題の達成感覚を通してみた自己愛と攻撃性の関連～エリクソンのライフサイクル論を通して～
- ・起立性調節障害（OD）当事者及び保護者の障害受容過程の研究～TEMを用いて～
- ・大学生アスリートにおけるシャードンフロイデに関する研究－日常・競技ストレス、妬み、競技レベルに着目して－
- ・大学生における心的外傷後成長（PTG）過程の検討－体験から受けるストレスの違いの観点から－
- ・青年期における「推し」の熱中と共有が本来感を介して精神的健康と学校適応に及ぼす影響について
- ・動物介在活動が幼児の愛着行動に及ぼす影響について
- ・再非行の防止を目的とした保護司・BBS会員の少年への関わりについてのモデル形成：個人を尊重する関わりの観点からの検討

主な進路

- 兵庫県スクールカウンセラー
- 神戸市・三木市・姫路市スクールカウンセラー
- 三木市立教育センター 青少年カウンセラー
- 姫路市立総合教育センター 教育相談員
- 宝塚市教育委員会教育支援課 心理相談員
- 明石市児童生徒支援課 生徒指導相談員
- 兵庫県立神出学園 臨床心理士
- 児童心理治療施設 清水ヶ丘学園 カウンセラー
- 児童養護施設「社会福祉法人立正学園」 臨床心理士
- 子ども発達支援センター「にじいろ」 専任カウンセラー
- 放課後等デイサービス 児童指導員
- 日本心理教育センター 心理カウンセラー
- 兵庫県立こども病院 カウンセラー
- 精療クリニック小林 専任カウンセラー
- 清水小児科 臨床心理士
- 池内心療内科医院 心理カウンセラー
- 国立病院機構奈良医療センター療育指導室 児童指導員
- 岡田クリニック 心療内科 心理士
- 兵庫県警本部 少年補導職員
- 滋賀県警 少年補導職員
- 徳島県警 少年補導職員
- 関西国際大学心理臨床センター 専門相談員
- 立命館大学大学院 博士後期課程
- 東洋大学大学院 博士後期課程

履修モデル

成績用科目 分類名称	科目名称	公認心理師 受験資格要件	臨床心理士 受験資格要件	履修モデル (臨床心理士+公認心理師)
基 礎	人間行動学特論			●
	心理学特論			●
	社会学特論Ⅰ			
	教育学特論Ⅰ			
	臨床心理学特論Ⅰ		●	●
	臨床心理学特論Ⅱ		●	●
基 幹	人間行動学演習			●
	心理学研究法特論		● A 群	● A 群
	臨床心理学研究法特論		● A 群	● A 群
	認知心理学特論		● B 群	
	生理心理学特論		● B 群	
	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	●	● C 群	● C 群
	環境心理学特論		● C 群	
	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	●	● D 群	● D 群
	心身医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	●	● D 群	● D 群
	心理療法特論		● E 群	● E 群
	投影法特論Ⅰ		● E 群	● E 群
	投影法特論Ⅱ		● E 群	● E 群
	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	●	●	●
	臨床心理面接特論Ⅱ		●	●
	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	●	●	●
	臨床心理査定演習Ⅱ		●	●
	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	●		●
	グループアプローチ特論（家族関係・集団・社会における心理支援の理論と実践）	●		●
展 開	家族関係特論		● C 群	
	発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	●	● B 群	● B 群
	産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	●		●
	健康心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）	●		●
	修士論文指導			●
	臨床心理基礎実習		●	●
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	●	●	●
	臨床心理実習Ⅱ		●	●
	臨床心理実践基礎実習（心理実践実習）	●		●
	臨床心理実践実習（心理実践実習）	●		●
	社会調査法			
	データ分析法			
	社会調査実習			
	フィールド演習Ⅰ			
	フィールド演習Ⅱ			

●：必修科目 ●：選択必修科目

■主な担当教員紹介



研究科長／教授
山本 真由美

■担当予定科目

公認心理師・臨床心理士受験資格取得養成科目（発達心理学特論、精神医学特論、臨床心理基礎実習など）

■主な研究テーマ・キーワード

発達臨床心理学
発達障害児者やその保護者への支援

■主な著書等

学習障害の子どもたち一親と教師のための入門―ミネルヴァ書（共訳）
脳損傷のリハビリテーション 医歯薬出版株式会社（共訳）
発達心理学をアクティブに学ぶ 北大路書房（共著）



教授
横川 滋章

■担当予定科目

臨床心理面接特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学特論Ⅰ、臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実践実習、臨床心理実践基礎実習、修士論文指導

■主な研究テーマ・キーワード

臨床心理学（精神分析的心理療法・臨床心理査定）
動物介在活動・教育

■主な著書等

『生い立ちと業績から学ぶ精神分析入門：22人のフロイトの後継者たち』（乾吉佑監修 横川滋章・橋爪龍太郎編著 創元社）



研究科長補佐／准教授
松井 幸太

■担当予定科目

臨床心理学特論Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ、臨床心理面接特論Ⅱ、グループアプローチ特論、臨床心理基礎実習、臨床心理実践実習、修士論文指導

■主な研究テーマ・キーワード

臨床心理学（学校臨床心理学、人間性心理学）、
臨床スポーツ心理学（運動・スポーツによる心の回復・成長）

■主な著書等

『エンカウンター・グループの新展開』（木立の文庫）
『スポーツと心理臨床』（心理臨床の広場）
『不登校経験のある定時制・通信制高校生の生活実態調査』（学校メンタルヘルス研究）
『高校運動部活動における生徒の内発的動機づけ』（スポーツ心理学研究） など



教授
清水 美知子

■担当予定科目

家族関係特論、社会調査法、社会調査実習

■主な研究テーマ・キーワード

近現代日本における家事使用人の研究
シニア世代の子育て支援に関する研究

■主な著書等

『（女中）イメージの家庭文化史』（世界思想社、日本生活学会第30回令和次郎賞受賞）
『日本女性史辞典』（吉川弘文館・共著）
『漱石辞典』（翰林書房・共著） など



教授
中山 誠

■担当予定科目

犯罪心理学特論、人間行動学特論、心理学特論

■主な研究テーマ・キーワード

精神生理学的虚偽検出
防犯的観点からの犯罪機会論

■主な著書等

『生理指標を用いた虚偽検出の検討』（北大路書房）
『Practical use of the concealed information test for criminal investigation in Japan』（Academic Press・分担執筆）



教授
寺村 堅志

■担当予定科目

投影法特論Ⅰ、臨床心理査定演習Ⅰ、心理学研究法特論

■主な研究テーマ・キーワード

非行・犯罪臨床心理学、非行・犯罪からの立ち直り支援

■主な著書等

『司法・犯罪心理学』（有斐閣、逸見書房、ミネルヴァ書房・共著）
『犯罪統計入門』（日本評論社・共著）
『無差別殺傷事犯に関する研究』（法務総合研究所研究部報告50・共著） など



教授
道免 逸子

■担当予定科目

健康心理学特論

■主な研究テーマ・キーワード

トラウマ関連障害（PTSD、解離性障害、適応障害等）への認知行動療法
サバイバー・ギルトの研究

■主な著書等

『ナラティブ・エクスプロージャー・セラピー（NET）による虐待サバイバーのPTSD治療報告』（精神神経学雑誌）
『Narrative exposure therapy for PTSD and structural dissociation and Techniques for its conduct』（European Journal of Trauma & Dissociation）
『子供が学校に行きたくなくなったときに読む本』（丸の内出版・共訳） など



准教授
山本 喜晴

■担当予定科目

臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理実践実習、臨床心理基礎実習、投影法特論Ⅱ

■主な研究テーマ・キーワード

臨床心理学
箱庭療法
遊戯療法

■主な著書等

『心理臨床における身体イメージの体験』
『身体の病と心理臨床―遺伝子の次元から考える』
『実例研究から学ぶ心理臨床』（いずれも創元社・共著）



准教授
田中 亜裕子

■担当予定科目

学校臨床心理学特論、臨床心理査定演習Ⅱ

■主な研究テーマ・キーワード

臨床心理学（自己概念の構造に関する研究、大学適応に関する研究）

■主な著書等

『やさしく学べる乳幼児の発達心理学―妊娠、出産から子育てまで―』（創元社）



准教授
板山 昂

■担当予定科目

心理学研究法特論、データ分析法

■主な研究テーマ・キーワード

犯罪心理学、社会心理学、法と心理学
法的制裁・社会的制裁、犯罪者に対する偏見と更生の支援、組織内での不祥事・ハラスメント など

■主な著書等

『入門 司法・犯罪心理学―理論と現場を学ぶ』（有斐閣・共著）
『基礎から学ぶ犯罪心理学研究法』（福村出版・共著）
『人間関係の社会心理学』（晃洋書房・共著） など



講師
齋藤 元幸

■担当予定科目

心理学特論、認知心理学特論

■主な研究テーマ・キーワード

認知心理学（思考、推論、意思決定）
因果推論に関する認知科学的研究

■主な著書等

『因果性の学習と推論における因果ベイズネットについて』（認知科学）
『合理性の地図：歴史的・理論的観点からの考察』（認知科学）



臨床教育学専攻

臨床教育学専攻の特色

本専攻では、多様化する子どもに関する科学的理解と実践的研究を進め、教育現場をはじめとする社会においていっそう活躍できる人材の育成をめざしています。授業は平日18時30分から90分の授業を2コマ開講しており、また、本専攻のある尼崎キャンパスは、JR尼崎駅から徒歩5分というアクセスにあるため、大変利便性のよい立地条件にあります。また、入学時から2年を超える履修計画を立てることができる長期履修制度の選択も可能ですので、現職をお持ちの方々も仕事を続けながら学ぶことができます。

■特別支援教育コース

共生社会の形成を目ざすインクルーシブ教育システムの構築が目ざされている現在、特別支援教育の推進はますます重要な課題となっています。本コースでは、通常の学級や通級指導教室で学ぶLD（学習障害）、ADHD（注意欠如／多動性障害）、ASD（自閉症スペクトラム障害）の子どもたちの支援や、特別支援学級・特別支援学校での指導に高い専門性を有し、学校園の特別支援教育の中核となる人材の育成をめざしています。

■幼児教育マネジメントコース

社会の変化に伴って一層多様化する教育保育ニーズに対応するためには、特別支援教育に関する専門性に加えて、少子化時代に対応しうる学校園経営、危機管理（災害や犯罪への対応）、ICT活用、外国籍の人を含む保護者対応など、より広範なニーズに応えうる人材が求められています。本コースでは、教育・保育現場におけるこれらの今日的課題に幅広く対応するための専門的知識・技能を有することに加えて、組織マネジメントの観点からも、学校園や地域での政策・計画立案、組織体制づくりを実践できる人材の育成をめざしています。

■日本語・日本文化コース

日本語・日本文化コースでは、日本語学、日本文化、異文化間教育を専門的に学びます。言語学や文化・社会研究など多岐にわたる分野を探究し、学術的な思考力を養います。日本人学生も留学生も日本語教育の実践的な学びの経験を得ることができ、日本語の高度な運用能力を身につける機会があります。修了後は、日本語教師、文化交流関連の職業、研究者など、幅広い進路が開かれています。

■教育訓練給付金制度を利用することができます

公務員以外の社会人で、一定の条件を満たす方には、国の教育訓練給付金が支給されます。

■専修免許状取得について

本専攻では、幼稚園教諭専修免許状・小学校教諭専修免許状・中学校教諭専修免許状「社会」「英語」・高等学校教諭専修免許状「公民」「英語」が取得可能となっています。

■特別支援教育士資格取得ポイント振替えについて

一般財団法人特別支援教育士資格認定協会が認定する発達障害のアセスメント・支援の専門資格である特別支援教育士の資格取得に必要な36ポイントのうち、28ポイントを大学院の指定の授業の単位で振替えることができます。

充実した実習・演習 学んだ知識を実践力に変える活きた実習体験

臨床教育学専攻

■特別支援教育コース

現在日本の学校を取り巻く状況は、学力の向上、生徒指導上の諸問題、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応等、教員が対応すべき課題の多様化が著しく進んでいます。なかでも発達障害や虐待、不登校等で配慮を必要とする児童生徒に関する理解と支援の必要性が高まっています。例えば発達障害教育特別演習Ⅰは、具体的なテーマに沿った実践研究やアセスメントを行うことにより、発達障害等に関する分野での実践・研究に必要となる現場体験及び文献講読による実践分析力と研究方法の習得をめざしています。さらに発達障害教育特別演習Ⅱでは、Ⅰで得られた基礎データをもとに、各自のテーマを持って各所属校・園等での実践を行い、発達障害児へのエビデンスのある教育方法に関して研究を進めていきます。



ボールを使った体づくりの活動の場面

■幼児教育マネジメントコース

幼児教育マネジメントコースでは、「幼児教育における情報管理論」「幼児教育における情報活用論」において、幼稚園、保育所、認定こども園といった幼児教育・保育施設のマネジメントに関する理論的な学びとともに

に、生成AIを含めたICT活用の演習を取り入れています。情報管理論では、幼児教育・保育施設の効率的なマネジメント、リスク・マネジメントにICTを活用している先進的な園の事例を学び、また著作権や個人情報保護に関して、弁護士による具体的な事例検討を行います。情報活用論では、実際の保育場面と園内研修におけるICT活用の先進事例を学び、自園でのさらなる活用を検討します。



360度カメラを活用した実習指導

■日本語・日本文化コース

日本語教育の実習では、大学院生が実際の日本語学習者を対象に授業を行い、教授法を実践的に学びます。模擬授業や観察実習を通じて、効果的な指導方法や教材開発を経験します。学習者との対話を重視し、文化的背景を考慮した指導を行うことも求められます。実践を通じて、日本語教師としてのスキルを磨く貴重な機会となります。



充実した実習・演習

主な進路（社会人を除く）

- 大阪府特別支援学校 教諭 ●神戸市立特別支援学校 教諭 ●関西保育福祉専門学校 講師 ●飯塚ライム保育園長 ●中国体育系大学助教
- 関西国際大学学修支援センター ●KID ACADEMY kk ●中津川市発達支援センター他

■履修モデル

成績科目分類名称	科目名称	教育（専修免許科目）	教育（特別支援教育）	教育（幼児教育マネジメント）	教育（日本語・日本文化）
基礎	人間行動学特論	●	●	●	●
	心理学特論	●	●	●	●
	社会学特論Ⅰ	●	●	●	●
	教育学特論Ⅰ	●	●	●	●
	臨床教育学特論Ⅰ	●	●	●	●
	臨床教育学特論Ⅱ	●	●	●	●
	特別支援教育特論	●	●	●	●
	発達障害教育特論	●	●	●	●
	学校・園におけるマネジメントの理解と実践	●	●	●	●
	幼小連携・持続特論	●	●	●	●
	学校・園における危機管理	●	●	●	●
	日本語・日本文化総論①	●	●	●	●
	日本語・日本文化総論②	●	●	●	●
	日本の文化と心理	●	●	●	●
基幹	人間行動学演習	●	●	●	●
	教育社会学特論	●	●	●	●
	障害者教育特論	●	●	●	●
	特別支援教育実践研究	●	●	●	●
	教育環境学特論	●	●	●	●
	幼児教育における情報管理論	●	●	●	●
	幼児教育における情報活用論	●	●	●	●
	教職特別研究特論	●	●	●	●
	教育制度学特論	●	●	●	●
	発達心理学特論	●	●	●	●
	人財育成論	●	●	●	●
	学級経営学特論	●	●	●	●
	社会統計学特論	●	●	●	●
	日本文化特論	●	●	●	●
展開	安全・安心な日本社会	●	●	●	●
	社会統計学特論	●	●	●	●
	修士論文指導	●	●	●	●
	実践課題研究指導	●	●	●	●
	発達障害教育特別演習Ⅰ	●	●	●	●
	発達障害教育特別演習Ⅱ	●	●	●	●
	フィールド演習Ⅰ	●	●	●	●
	フィールド演習Ⅱ	●	●	●	●
	スクールインターンシップ	●	●	●	●
	日本文化特論Ⅰ（伝統文化）	●	●	●	●
	日本文化特論Ⅱ（現代・popカルチャー）	●	●	●	●
	データ分析法	●	●	●	●

●：必修科目 ●：履修モデル科目 ■：履修モデル選択科目

■主な担当教員紹介



学長／教授
濱名 篤

■担当予定科目

人間行動学演習、修士論文指導

■主な研究テーマ・キーワード

ユニバーサル高等教育の日本的展開、人口減少社会における大学の役割の再構築と地域創生

■主な著書等

『土族の歴史社会学的研究』（名古屋大学出版会）、『大学改革を成功に導くキーワード30「大学冬の時代」を生き抜くために』（学事出版）、『初年次教育の現状と未来』（世界思想社）、『大学の質保証とは何か』（エイデル研究所）、『学修成果への挑戦 地方大学からの教育改革』（東信堂）、『進化する初年次教育』（世界思想社）、『実務家教員の理論と実践』（社会情報大学院大学出版部）など



研究科長補佐／教授
中尾 繁樹

■担当予定科目

特別支援教育実践研究、人間行動学演習、発達障害教育特別演習Ⅰ・Ⅱ、修士論文指導

■主な研究テーマ・キーワード

特別支援教育（乳幼児から児童青年期の心と運動の発達及び重度重複障害、発達障害知的障害児等への具体的教育支援、地域における特別支援教育体制作り）
不器用児及びスポーツ選手への感覚運動指導

■主な著書等

『特別ではない特別支援教育』シリーズ①～⑤巻（明治図書）、『「特別支援教育」ハンドブック』（明治図書）、『障害スポーツトレーナー教本』（星雲社） など



教授
濱名 陽子

■担当予定科目

教育学特論Ⅰ、学校園における危機管理Ⅰ、人間行動学演習、修士論文指導

■主な研究テーマ・キーワード

家庭教育・幼児教育の社会学

■主な著書等

『幼児教育の変化と幼児教育の社会学』（『教育社会学研究』第88集）
『創造的コミュニティのデザインー教育と文化の公共空間ー』（有斐閣・共著）
『新・教育の社会学』（有斐閣・共著）
『小学校教員のための安全管理ー自然災害編』（昭和堂・共著）



教授
川村 光

■担当予定科目

教職特別研究特論、教育社会学特論、フィールド演習Ⅰ・Ⅱ、修士論文指導

■主な研究テーマ・キーワード

教師文化、教師のライフヒストリー、教師のライフコース、教師教育

■主な著書等

『専門職として成長し続ける教師になるためにー教職詳説ー』（人言洞・共著）
『アクティベート教育学③ 現代社会と教育』（ミネルヴァ書房・共著）
『教師の学習と成長』（ミネルヴァ書房・共著）
『大学における教員養成の未来ー「グランドデザイン」の提案ー』（学文社・共著）
『1970-80年代の学校の「荒れ」を経験した中学校教師のライフヒストリーー教師文化における権威性への注目ー』（『教育社会学研究』第85集） など



教授
西本 望

■担当予定科目

発達心理学特論、幼小連携・持続特論、人間行動学演習、修士論文指導

■主な研究テーマ・キーワード

基本的生活習慣、規範・価値意識等パーソナリティ（人格・性格）形成とターニングポイント・転換・回心の機序、愛着障害、家庭と地域社会・社会教育、家族関係論・家族問題

■主な著書等

『教育のアイデア』（昭和堂）、『教育心理学のエッセンス』（八千代出版）、『子ども家庭支援論』（光生館）など



教授
北村 正仁

■担当予定科目

幼児教育における情報管理論

■主な研究テーマ・キーワード

コーポレートガバナンス（経営理念・CSR論）、ITマネジメント（情報セキュリティ）

■主な著書等

『医療機器産業を考えるーその課題と動向ー』（『産業学会研究年報』No.35）
『「パーパス」経営に関する一考察ー「経営理念」との比較の観点からー』（『経済集志』第92巻）
『Changes to the Corporate Philosophy in Response to Corporate Globalizationー A Case Study of Globalization in Olympusー』（『Cultural Translation of Management Philosophy in Asian Companies』Springer・共著） など



教授
伊藤 創

■担当予定科目

日本語・日本文化総論、日本語学特論

■主な研究テーマ・キーワード

対照言語学・認知言語学（言語相対性、日英語の事態把握・描写）

■主な著書等

『日英語母語話者における事態の描き方の型の違いと事態の捉え方の型の違い』（『言語研究』154号）
『国際英語論』が自明としている言語観を問い直す』（『社会言語学』22号・共著）
『二つの主部内在型関係節構文ー産出の動機づけからみた同構文の分類と成立条件ー』（『日本語文法』13巻2号） など



教授
越山 泰子

■担当予定科目

日本語・日本文化総論、日本文化特論

■主な研究テーマ・キーワード

異文化理解、外国語教育

■主な著書等

『カリフォルニア州における日本語教員資格認定に対する高校日本語教師の意識調査』
『日本語教師の専門能力開発』（日本語教育学会、當作靖彦編、共著）
Japanese and English Language Ability of Students at Supplementary Japanese Schools in the U.S. Teaching Chinese, Japanese, and Korean Heritage Language Students Curriculum Needs, Materials, and Assessment（Routledge、Kimi Brown-Kondo編、共著）



教授
樋田大二郎

■担当予定科目

人間行動学演習、修士論文指導

■主な研究テーマ・キーワード

探究学習、地域学校協働、地域人材育成

■主な著書等

『現代高校生の学習と進路ー高校の「常識」はどう変わってきたか？』、2014年、学事出版（共著）
『人口減少社会と高校魅力化ー地域人材育成の教育社会学ー』、2018年4月1日明石書店（共著）
『地域人材育成研究』第1号～第4号



准教授
吉田 武大

■担当予定科目

教育制度学特論

■主な研究テーマ・キーワード

教育制度学、教育行政学（教育政策、アメリカ合衆国、連邦政府）

■主な著書等

『教員採用試験と教職教養科目』
（若井彌一編『教員の養成・免許・採用・研修』教育開発研究所） など



准教授
棕田 善之

■担当予定科目

幼小連携・持続特論

■主な研究テーマ・キーワード

幼小連携・幼児教育・園内研修・園長のリーダーシップ・事業継承

■主な著書等

『園内研修でもっと豊かな園づくり』『子どもたちからの贈りもの』
『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』『小学校教育用語辞典』
『教育探究の基礎』『保育の学び ファーストステップ』
『保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園実習』

2026年度大学院修士課程 入試概要

■入学定員と募集人員

研究科	専攻	コース	募集人員	入学定員
人間行動学研究科	人間行動学専攻（修士課程）		5名	5名
	臨床教育学専攻（修士課程）	特別支援教育コース	8名	8名
		幼児教育マネジメントコース		
		日本語・日本文化コース		

※「人間行動学専攻」（三木キャンパスで開講）は、昼間のみの開講です。
※「臨床教育学専攻」（尼崎キャンパスで開講）は、平日の18時30分から、90分の授業を2コマ〔（1限）18：30～20：00（2限）20：10～21：40〕開講します。日本語・日本文化コースでは、この時間以外に土曜日・集中講義があります。
※募集人員は、一般選拔型・社会人選拔型・社会人特別選拔型（長期履修学生用）・外国人留学生選拔型の前期、後期日程の合計です。
※社会人特別選拔型（長期履修学生用）は、「人間行動学専攻 臨床心理学コース」については実施しません。
※人間行動学研究科臨床教育学専攻が教育給付金の専門実践教育訓練として指定を受けました。（※社会人選拔型のみ）

■入試日程および選抜方法

専攻コース／入試区分		試験会場	選抜方法	入試区分/日程	出願期間	試験日
人間行動学専攻 ・臨床心理学コース	一般、社会人、 外国人留学生選抜型	三木キャンパス	1) 研究計画書 2) 筆記試験（英語・専門科目） 3) 面接試験 4) 出願書類	【前期日程】	8/2 (土)～ 9/1 (月)	9/7 (日)
	臨床教育学専攻 ・特別支援教育 コース ・幼児教育マネ ジメントコース ・日本語・日本文 化コース	一般選抜型 社会人、社会人特別 (長期履修学生用) 外国人留学生選抜型	尼崎キャンパス 1) 研究計画書 2) 筆記試験（英語・専門科目） 3) 面接試験 4) 出願書類（長期履修学生用）	【後期日程】	2026/ 1/19 (月)～ 2/9 (月)	2026/ 2/15 (日)

※事前相談について

出願を予定する者は、希望する専攻の内容・指導教員等について、次の期日までに事前相談をしておくことが望めます（事前相談は入試の合否判定に影響するものではありません）。
●前期日程：2025年8月1日(金)まで ●後期日程：2026年1月16日(金)まで
事前相談は本学にて行います。お申し込み、ご不明な点は、入試・広報課（E-mail exam@kuins.ac.jp または TEL 078-341-1615）までご連絡ください。詳しい条件や出願方法などについては、学生募集要項（大学院）をご確認ください。

個別の入学資格審査について

各選拔型の出願資格※のうち、一般の（7）、社会人の（2）、社会人特別（長期履修学生用）の（2）、外国人留学生の（4）の資格により受験を希望する場合は、出願に先立ち、個別の入学資格審査が必要になります。
※出願資格については学生募集要項（大学院）をご覧ください。
志願者は、申請用紙を本学WEBサイト（入試情報の大学院入試のページ）よりダウンロード、または本学入試・広報課（TEL.078-341-1615）まで請求し、次の申請期間内に郵送にて提出してください。

- 申請期間 前期日程：2025年6月2日(月)～7月4日(金)必着
後期日程：2025年11月25日(火)～12月12日(月)必着
- 提出書類 ①個別の入学資格審査申請書【本研究科所定用紙】
②個別の入学資格審査に係る自己推薦書【本研究科所定用紙】
③高等学校（中等教育学校）卒業後の学歴に係る卒業証明書および成績証明書（調査書）
④本学または他大学における研究生の期間がある場合は、研究成果の概要を記載している書類（研究生として在籍中の場合は、在籍証明書）
⑤経歴がある場合は、勤務先で証明を受けた職務内容調査書【本研究科所定用紙】
※勤務先が複数箇所ある場合はそれぞれの各勤務先での証明が必要となります。
⑥学位・称号、免許・資格、賞等がある場合は、その写し
⑦卒業証明書、成績証明書および業績等を証明するもの等を添付の際に、日本語または英語以外で記載された書類等については、日本語訳または英語訳を添付のこと。また、外国の大学を卒業見込の者で、卒業見込証明書が入手困難な場合は、学長または学部長が作成する同等の内容を記載した公的な文書を提出すること。
⑧入学資格審査結果通知書の返信用封筒
（速達料金相当の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記してください。）
※提出書類の証明書と現在の氏名が相違している場合は、戸籍抄本等の改姓を証明する書類を提出してください。
- 提出先 関西国際大学 入試・広報課 〒650-0006 兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号
封筒表面には、「大学院入学資格審査書類在中」と朱記し、簡易書留で郵送してください。
- 審査機関 人間行動学研究科委員会の審議を経て学長が認定します。
- 審査方法 提出された書類に基づき、申請者の学歴、経歴、免許・資格、賞、業績等により審査します。
- 審査結果 審査後ただちに、申請者に連絡します。

■三木キャンパス



JR三ノ宮駅前からスクールバスで約35分
JR明石駅前からスクールバスで約45分
神戸電鉄緑が丘駅前からスクールバスで約5分



〒673-0521 兵庫県三木市志染町青山1丁目18番
TEL / 0794-85-2288 (代表)

■尼崎キャンパス



JR大阪駅からJR尼崎駅まで約5分
JR三ノ宮駅からJR尼崎駅まで約14分

JR尼崎駅から徒歩約6分



〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号
TEL / 06-6496-4755 (代表)

KUISs 関西国際大学